

# 令和4年度事業方針（案）

## 基本方針

令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株の発生など、今後も予断を許さない状況にあります。令和4年度も、内外環境が好転する気配は無く、高齢化の進展や多発する自然災害、出口の見えないマイナス金利政策など、農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。

このような環境下、令和3年度は、総合事業展開を堅持し、財務の健全化を図るための「経営改革の実践」に関して、組合員各位のご理解・ご協力により、臨時総代会で決議をいただき、令和4年度は、その実践に向けた取り組みを開始する重要な年度となります。

職員一人一人が経営改革および課題解決に向けた自分の役割を認識し、中期計画・単年度計画の達成に向け、全役職員の総力を結集し、令和4年度事業に取り組んでまいります。

## 基本目標

### ○組織基盤・経営基盤の強化

- 1 協同組合の役割を発揮し、組合員の拡大を目指します。
- 2 経営改革の実践により、財務の健全化と組合員還元を目指します。
- 3 総合事業を担う人づくりとともに、目標管理によるPDCAの実践に取り組みます。

### ○農業基盤の維持・拡大

- 1 営農指導強化に向けた体制整備を実践し、品目別（地帯別）栽培に基づく指導体制、階層別の指導体制を確立します。
- 2 「新たな農業振興ビジョンに沿った農業振興」や「重点品目を定めたブランド化」を目指します。

### ○事業基盤の拡大

- 1 対話活動から組合員・利用者のニーズや課題を聞き取り、実現に向けた提案を行うコンサルティング業務に取り組みます。
- 2 金融拠点の減少をカバーするため、出向く総合窓口の体制づくりによって総合事業の拡大を目指します。

## 農政活動

T P P 11や日欧E P Aの大型協定が発効される中で、農畜産物も国際競争の波にさらされており、食料自給率の低下が更に加速され、地方の農業・農村にも影響を及ぼしかねない状況となっています。

そのような中で、持続的な農業経営・将来的な農村風景の維持に向けて、地域農業の発展や農業の持つ多面的機能を守るため、農業の中心的な担い手をはじめ、組合員、地域住民の意見を反映し、実効的な農政活動を展開するとともに、国や県、市町村に対して農業者視点からの政策提言および要請活動を行います。

- 1 組合員との対話から得られた要望や期待を踏まえ、持続可能な農業・農村の実現を目指し、地域や生産者と一体となった農政活動に取り組みます。
- 2 地域の特色ある農業振興や、農業・農村の豊かな景観維持及び担い手確保に向けて、関係行政とも農業振興ビジョンを共有し、国や県、市町村に対し農業関係予算の確保や各種要請に継続して取り組みます。
- 3 令和3年産米の米価下落、在庫の増大を踏まえ、地域農業再生協議会の機能発揮による主食用米の適正生産の継続実施と、生産者の所得確保に向けた経営所得安定対策拡充等の要請活動を展開します。
- 4 市町村をはじめとした関係機関や様々な業種との意見交換等を通じて、地域ブランドの構築や地域農業の課題解決に向けたさらなる連携強化に取り組みます。

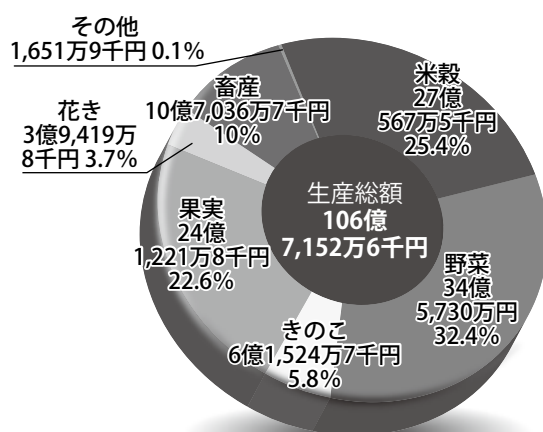
## 農業振興活動

第10次中期3カ年計画初年度として、重点品目振興ビジョン及び地域農業振興ビジョンを土台として、農業所得増大へのさらなる挑戦に向けた各種施策に取り組みます。

主要な施策として、「産地の創造に向けた取り組みとJ Aへの結集、生産基盤の強化」「農業者の声を反映した階層別指導体制の構築と連携」「持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持拡大」の実現に向け取り組みます。

- 1 J A信州うえだが取り組む重点的な作物を「重点品目」として定め、長期的な振興方針を落とし込んだ「重点品目振興ビジョン」にもとづいた農業振興活動に取り組みます。
- 2 地区事業部長をリーダーと位置づけ、地域営農システムの構築をすすめ、地域住民・行政・農業委員会・農業農村支援センター・J Aが一体となり地域活性化をすすめます。
- 3 園芸品目の施設化を推進し、自然災害に強い産地を目指します。
- 4 重点振興作物の面積拡大を図り、競争力ある産地づくりを目指します。
- 5 新規就農者や中心的担い手農家への農地集積をすすめ、貸し手、借り手双方が安心して農地を貸借できるように、農地利用集積円滑化事業から農地中間管理事業への移行に取り組みます。
- 6 行政と連携し、人・農地プラン実質化のため、地域農業を担う中心的担い手の確保につとめます。
- 7 新規就農者の確保・早期自立に向け、関係行政、(有)信州うえだファーム等と連携して、就農相談会への参加や就農支援を行います。
- 8 農畜産物の新たな付加価値を創造するため、行政とともに農商工観学連携をすすめます。
- 9 青色申告の普及拡大や記帳支援等を通じ、財務状況から経営指導できる営農技術員を育成します。
- 10 中山間地等地域の状況を考慮したうえで、モデルケースとなる超省力型農業の実践に向けスマート農業の研究をすすめます。
- 11 農業と福祉分野の連携において、障がい者が農業を通じて自立できる農福連携のマッチングとコーディネーターの研究・育成に取り組みます。
- 12 各組織と連携して、労働者確保に取り組みます。
- 13 安全、安心な農産物生産のため、生産工程管理において現在実施しているJ A独自のG A Pから長野県G A Pへの移行を検討します。また、既存のエコファーマー、環境にやさしい認証制度に継続的に取り組みます。
- 14 グリーン社会の実現に向け「持続的農業生産体制の構築」「生産者・自給的農家・消費者が一体的に目指すS D G sの実践」「資源循環型農業の実践」に取り組みます。

地域内農業生産計画



※直売所取扱額は除く

## 水田農業対策

- 1 各地域の農業再生協議会の一員として、生産者と共に需要に応じた主食用米の適正生産に取り組みます。
- 2 水田収益力強化ビジョンに基づき、戦略作物である小麦、大豆、そば等の地域に見合った品目の作付拡大と、ブロックローテーションの維持及び生産性向上に向けた体制強化に取り組みます。
- 3 地域の実情に即した栽培品種や品目の誘導を行い、所得、収量、品質の向上を図ります。
- 4 需要と結びついた備蓄米、加工用米等の水田活用米穀の生産拡大を行い、経営所得安定対策に取り組み、総合的な農業所得の確保につとめます。
- 5 主食用米の消費減少と流通在庫増大による米価の下落を防ぐため、関係機関に生産目安値の順守に向けた指導力発揮を要望します。

## 青壮年組織活動・青年部活動

- 1 青壮年部や青年部との対話活動を通じて、地域農業の課題を共有し、解決に向け共に取り組みます。
- 2 若手農業者との様々な組織活動を通じ地域農業のリーダーを育成します。
- 3 J Aと一体となった組織活動によって協同の成果を実現し、J Aへの事業参画を増進します。
- 4 地域やJ Aと連携した食育活動を実践し、農業に対する理解促進と地元農畜産物のファン拡大に取り組みます。

## 指導事業収支計画

(単位：千円)

| 科 目     |             | 前年度実績    | 本年度計画    | 摘 要             |
|---------|-------------|----------|----------|-----------------|
| 収 入     | 営 農 指 導 収 入 | 65,754   | 55,000   |                 |
|         | (うち賦課金)     | 27,220   | 28,000   | 正組合員1戸当たり2,000円 |
|         | その他指導収入     | 3,218    | 3,000    |                 |
|         | 計           | 68,972   | 58,000   |                 |
| 支 出     | 営 農 指 導 支 出 | 110,878  | 103,700  |                 |
|         | その他指導支出     | 12,305   | 23,000   |                 |
|         | 計           | 123,184  | 126,700  |                 |
| 収 支 差 額 |             | △ 54,212 | △ 68,700 |                 |

(注) 賦課金の基準は第4号議案のとおりである。

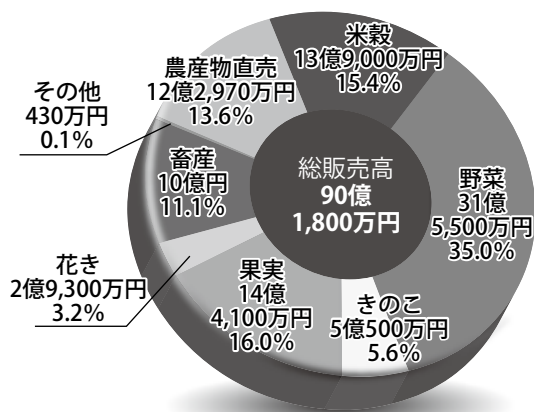
(注) 金額単位は千円とし、端数は切り捨て。科目金額の合計値はそれぞれの合計欄の金額と一致しない。

市場出荷者等を対象として重点作物の面積拡大に取り組みます。専門的な営農指導や情報の共有、生産資材の提案などを実践し、実需者の要請に応える農家指導を行い、消費者、生産者双方の満足向上に取り組みます。

### 【米 穀】

- 1 J A長野県安心基準米の生産基準に基づき、安全・安心な米づくりに向けた現地指導会や圃場巡回を実施し、実需者・消費者に選ばれる高品質な米生産を目指します。
- 2 米生産者に早期出荷を呼びかけた集荷対策を強化することで、米の需給と価格の安定を図るため計画的販売を実施し、所得確保に取り組みます。
- 3 主要品種である「コシヒカリ」「あきたこまち」及び、長野県オリジナル品種「風さやか」の適地・適作につとめます。
- 4 地域の加工業者と連携した「地域流通加工米」の生産と直接販売により、安定的な所得確保に取り組みます。
- 5 共同利用施設について、稼働率向上に向けた利用促進に取り組みます。
- 6 農産物検査法に基づき、計画的で適正な農産物検査業務を実施し、J A信州うえだ産米穀の消費者からの信頼向上を目指します。
- 7 農産物検査場所となる農業倉庫等の環境点検を実施し、米の保管管理についても温度管理や衛生管理を適正に行い、良品質米の維持につとめます。
- 8 需要の高い長野県産小麦・大豆は、計画的な新品種導入を実施し、広域的な乾燥調製施設の利用促進を行い、さらなる品質向上と、実需や消費ニーズに見合った生産、販売戦略を実践します。

### 農畜産物取扱計画



前年実績対比 109.7%  
前年計画対比 100.2%

### 【野 菜】

- 1 アスパラガスの生産拡大に向けて、継続的に新規就農者や担い手への働きかけを行い、遊休荒廃農地への作付けや団地化等による面積拡大に取り組みます。
- 2 市場ニーズの高いブロッコリーの標高差を活かした作付け拡大に取り組みます。また、連作障害（根こぶ病）や黒スス病対策等を徹底するとともに、生産に適した地域選定による新規生産者への栽培提案を行います。
- 3 産地としての高原レタスのブランド浸透と安定供給に取り組みます。また、農業所得の増大や販売強化に向けた、標高差を活かしたりレー栽培による長期生産出荷体制の拡大に取り組みます。
- 4 地域の特性や環境に適した栽培品目の研究・提案を行い、重点品目を定めることで地域ブランドにつながる産地形成を図ります。

### 【きのこ】

- 1 収量の増大および生産効率の向上に向けて、施設的环境改善や栽培管理工程の改善を定期的な巡回指導により徹底します。
- 2 市場や消費者ニーズに合わせた出荷を行うための生産情報の発信を的確に行うとともに、有利販売に向けた市場選定や産地PRに取り組みます。

### 【果 実】

- 1 自然災害に強い果樹産地と生産性向上を目指し、行政事業等有効活用した施設化の推進を強化します。
- 2 消費者ニーズが高く、有利販売が期待できる「シャインマスカット」「ナガノパープル」等をはじめとした無核大粒品種の推進と面積拡大に取り組みます。
- 3 リンゴの基幹品種「秋映」「ふじ」の再構築を行い、高密植わい化栽培導入推進により反収増加、農家所得の増大を目指します。



- 4 モモの生産拡大に向けて、低標高地帯は「あかつき」、高標高地帯は「川中島白桃」など、地帯に応じた生産振興に取り組みます。
- 5 高齢化等による樹園地の荒廃を未然に防止するため、地域の担い手や新規就農者への樹園地継承を促進します。

### 【花 き】

- 1 基幹品目である「グラジオラス」「トルコギキョウ」「スターチス」の生産拡大に向けて、既存農家の面積拡大と新規栽培者への栽培提案を行います。技術指導を通じたさらなる品質向上と生産振興に取り組みます。
- 2 安定販売が期待できる「小菊」の面積拡大と荒廃地・有害獣対策が期待できる「南天」「ユーカリ」等を中心とした作付推進を強化し、生産基盤の拡大に取り組みます。
- 3 消費者のニーズに基づいた適期な栽培や出荷への誘導と、有利販売に向けた産地のPRに取り組みます。

### 【畜 産】

- 1 畜産クラスター事業をはじめとする各種経営安定対策事業への加入を促進し、経営の安定化に努めます。
- 2 品質及び生産性向上対策として、関係機関と連携して巡回指導を実施し、各種検討会・研修会に参加します。
- 3 JAグループ一体となり、A・コープ店舗と連携した販売促進キャンペーンを実施するなど、地元畜産酪農品の販売強化に取り組みます。

### 【販売事業】

- 1 友好姉妹都市・友好JA等への販売の拡大と売場確保、ファンづくりによる信州うえだオンリーワンブランドを醸成します。
- 2 管内農畜産物の理解促進の醸成に向け、地域内外の量販店・飲食店・あっせん販売・学校給食などの販売機会を創出します。
- 3 管内それぞれの地域特性を活かした農産物・加工品などの販売を通じて、地域の魅力を発信します。
- 4 直売所運営の効率化を図ると共に、時代や消費者ニーズにマッチした直売所のあり方を模索し、JA信州うえだ農産物の発信拠点として、また地域のよりどころとなる魅力ある直売所運営を目指します。
- 5 行政や地域企業等と連携し、ふるさと納税の返礼品拡大や加工品の研究開発により、地域農畜産物のブランド力を高めます。

### 農畜産物取扱計画

(単位：千円)

| 種 類   | 前 年 度 実 績 |         | 本 年 度 計 画 |         | 前年実績対比<br>(B)/(A)×100 |
|-------|-----------|---------|-----------|---------|-----------------------|
|       | 取扱高 (A)   | 手数料     | 取扱高 (B)   | 手数料     |                       |
| 米 穀   | 1,292,847 | 37,061  | 1,390,000 | 36,507  | 107.5%                |
| 野 菜   | 2,860,149 | 85,754  | 3,155,000 | 86,703  | 110.3                 |
| き の こ | 494,954   | 14,849  | 505,000   | 15,150  | 102.0                 |
| 果 実   | 1,114,912 | 33,456  | 1,441,000 | 39,915  | 129.2                 |
| 花 き   | 277,099   | 6,933   | 293,000   | 7,325   | 105.7                 |
| 畜 産   | 968,300   | 8,804   | 1,000,000 | 9,900   | 103.2                 |
| そ の 他 | 6,254     | 147     | 4,300     | —       | 68.7                  |
| 農産物直売 | 1,203,123 | 53,758  | 1,229,700 | 60,420  | 102.2                 |
| 合 計   | 8,217,642 | 240,766 | 9,018,000 | 255,920 | 109.7                 |

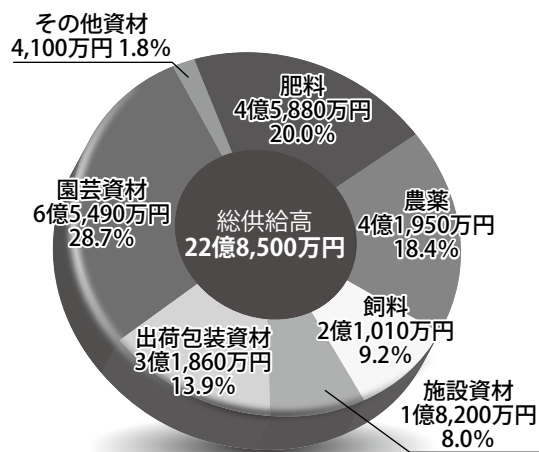
(注) 金額単位は千円とし、端数は切り捨て。科目金額の合計値はそれぞれの合計欄の金額と一致しない。

(注) 農産物直売の手数料は、利用事業収益に計上している。

## 生産購買事業

- 1 気候変動・自然災害に強い安定生産に向けた生産施設、生産資材を提案します。
- 2 生産資材価格に反映させる健全で効率的なグリーンファーム店舗運営につとめます。
- 3 生産資材Web受注システム会員の拡大を図るとともに、農家の価格メリットの追求につとめます。
- 4 営農指導との連携により、生産品目・経営規模に応じた生産資材や予約注文の有利性の提案を行い、生産資材のトータルコスト削減に取り組みます。
- 5 環境保全への取り組みとして、農業用廃プラスチックや廃農薬の回収事業を積極的に行います。

## 生産資材供給計画



前年実績対比 101.7%  
前年計画対比 92.5%

## 生産資材取扱計画

(単位：千円)

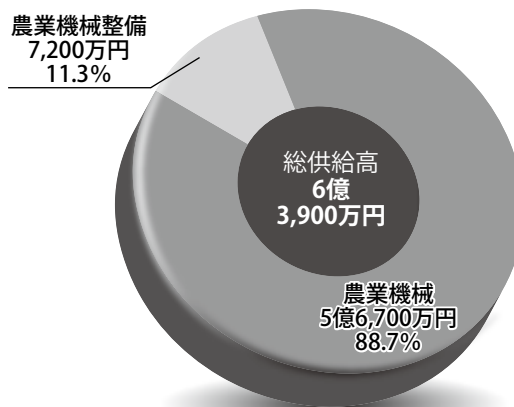
| 種 類         | 前年度実績     |  | 本年度計画     |  | 前年実績対比<br>(B) / (A) × 100 |
|-------------|-----------|--|-----------|--|---------------------------|
|             | 供 給 高 (A) |  | 供 給 高 (B) |  |                           |
| 肥 料         | 435,517   |  | 458,800   |  | 105.3%                    |
| 農 薬         | 396,189   |  | 419,500   |  | 105.8                     |
| 飼 料         | 225,160   |  | 210,100   |  | 93.3                      |
| 施 設 資 材     | 248,955   |  | 182,000   |  | 73.1                      |
| 出 荷 包 装 資 材 | 290,614   |  | 318,600   |  | 109.6                     |
| 園 芸 資 材     | 605,244   |  | 654,900   |  | 108.2                     |
| そ の 他 資 材   | 44,142    |  | 41,100    |  | 93.1                      |
| 合 計         | 2,245,824 |  | 2,285,000 |  | 101.7                     |

(注) 金額単位は千円とし、端数は切り捨て。科目金額の合計値はそれぞれの合計欄の金額と一致しない。

## 農業機械事業

- 1 大型農機や特殊農機の集中修理体制で修理期間の短縮を図り、新車から中古車等、情報を組合員に紹介するとともに、預かり修理品の緊急性を考慮し、代車対応を行い業務の効率化に向け取り組みます。
- 2 中古農機物流体制の構築、需要相談、適正査定を実施し、中古農機展示会を開催します。
- 3 近年増加傾向にある農作業事故の防止に向け、納品時の安全指導の徹底と啓発活動に取り組み、農業機械による農作業事故ゼロを目指します。
- 4 農機担当者の育成として、研修会・講習会・展示会に参加し技術、知識、顧客対応力向上に取り組みます。

## 農業機械供給計画



前年実績対比 93.3%  
前年計画対比 98.3%

## 農業機械取扱計画

(単位：千円)

| 種 類         | 前年度実績     |  | 本年度計画     |  | 前年実績対比<br>(B) / (A) × 100 |
|-------------|-----------|--|-----------|--|---------------------------|
|             | 供 給 高 (A) |  | 供 給 高 (B) |  |                           |
| 農 業 機 械     | 615,576   |  | 567,000   |  | 92.1%                     |
| 農 業 機 械 整 備 | 69,119    |  | 72,000    |  | 104.1                     |
| 合 計         | 684,696   |  | 639,000   |  | 93.3                      |

(注) 金額単位は千円とし、端数は切り捨て。科目金額の合計値はそれぞれの合計欄の金額と一致しない。

## 福祉事業

- 1 感染症や災害の発生を想定し、利用者に必要なサービスを安定的に提供できる体制づくりにつとめます。
- 2 福祉事業を担う人材確保と各種研修会（Web等）受講による人材育成による「地域包括ケアシステム」による高齢者の生活支援の充実、強化に取り組みます。
- 3 J A介護事業体制の整備・福祉事業改革に取り組みます。

## 生活支援事業

- 1 J Aの高齢者生活支援事業「ホットほっとサービス」をヘルパー事業所と連携し、サービス向上につとめます。
- 2 配食や訪問サービス時に利用者の安否確認を行います。
- 3 「助け合いの会」活動を通して、高齢者の生きがいや元気づくり、交流の場づくりに取り組みます。
- 4 健康寿命延伸と健康づくりへの意識向上のため、人間ドックや健康スクリーニングの受診を促進するとともに、各種健康教室を開催します。

## 女性組織活動

- 1 より参加しやすい組織づくりや活動の実践を通じ、女性組織の基盤拡大を図るとともに、次代を担うリーダーの育成や組織の活性化に取り組みます。
- 2 健康で心豊かなくらしを実現するため、各種生活文化活動の実施や健康教室等の開催、家の光三誌の普及運動などに取り組みます。
- 3 地産地消や食農教育の推進、環境問題等についての理解を深める学習活動の実施など、農業・農村の良さを見直し、食と農、環境を守る運動に取り組みます。
- 4 高齢者の生きがいづくり運動への協力、高齢者福祉活動への積極的な参加により、地域に根ざした助け合いの輪を広げる運動をすすめます。

## 協同活動

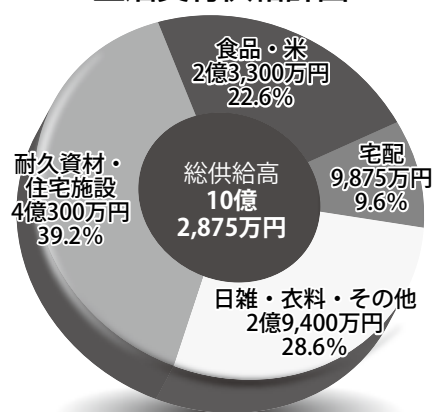
組合員や地域の多様なニーズに応える協同活動を促進・支援し、地域とのつながりの強化と次代を担う人づくりに取り組みます。

- 1 目的別グループの育成、活動支援及び次世代等の新たなグループの立ち上げに取り組むとともに、新たな参画を通じた仲間づくりと地域を支えるリーダーづくりに取り組みます。
- 2 各組織（グループ）活動の実施にあたり、J A施設の活用などの支援を通じ、組合員協同活動、学習・研修等、地区別活動の活性化に取り組みます。
- 3 組合員・地域住民と連携した食農・食育教育に取り組み、農業・J Aへの理解促進に取り組みます。

## 生活購買事業

- 1 毎月の定例訪問活動により地元農畜産物の提案を継続的にすすめるとともに、安全・安心なエコマーク品を中心とした食品を供給します。
- 2 お茶、味噌等の日常の食生活に密着した生活購買品の提案を行います。
- 3 米の定期配送を軸とした、他の食品の定期配送化に取り組み、組合員・利用者の利便性向上に貢献します。
- 4 安全・安心、時代に適合した商品の提供につとめます。
- 5 商品研修による商品知識の習得、提案力の強化を図り、組合員・利用者へのタイムリーなお役立ち情報の発信を行います。

### 生活資材供給計画



前年実績対比 108.4%  
前年計画対比 82.7%

### 生活資材取扱計画

(単位：千円)

| 種 類               | 前年度実績     | 本年度計画     | 前年実績対比<br>(B) / (A) × 100 |
|-------------------|-----------|-----------|---------------------------|
|                   | 供 給 高 (A) | 供 給 高 (B) |                           |
| 食 品 ・ 米           | 208,269   | 233,000   | 111.8%                    |
| 宅 配               | 104,541   | 98,750    | 94.4                      |
| 日 雑 ・ 衣 料 ・ そ の 他 | 282,277   | 294,000   | 104.1                     |
| 耐 久 資 材 ・ 住 宅 施 設 | 353,562   | 403,000   | 113.9                     |
| 合 計               | 948,650   | 1,028,750 | 108.4                     |

(注) 金額単位は千円とし、端数は切り捨て。科目金額の合計値はそれぞれの合計欄の金額と一致しない。

## ホームエネルギー事業

- 1 太陽光発電システム・蓄電池等の普及をすすめ、災害に強い家庭用エネルギー事業に取り組みます。
- 2 LPガスの安定供給に加え、組合員向けに「JAでんき」の提案を行います。

### 燃料 (LPガス) 取扱計画

(単位：千円)

| 種 類     | 前年度実績     | 本年度計画     | 前年実績対比<br>(B) / (A) × 100 |
|---------|-----------|-----------|---------------------------|
|         | 供 給 高 (A) | 供 給 高 (B) |                           |
| L P ガ ス | 449,757   | 443,000   | 98.4%                     |

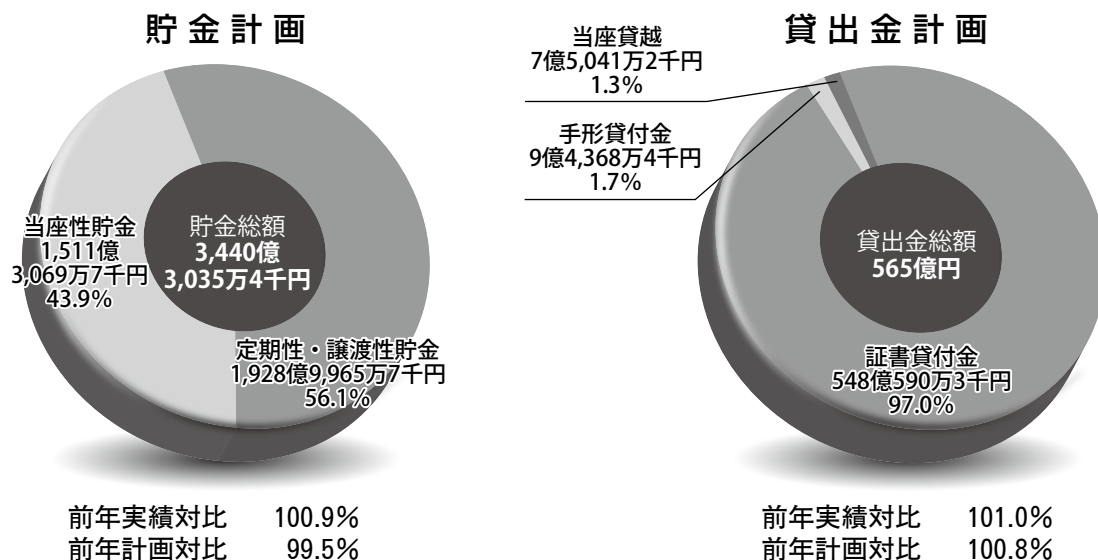
(注) 金額単位は千円とし、端数は切り捨て。

\* 前年計画対比 96.1%



## 信用事業

- 1 総合事業の強みを活かし、農業所得の増大につながる農業経営支援や資金対応など専門相談を通じ、JAバンクならではの金融仲介機能を発揮します。また、新型コロナウイルスの影響による資金・経営相談に対応します。
- 2 組合員・利用者の資産形成・運用をサポートするため提案活動を実践します。進展する金融ネット化・キャッシュレス化に対応した商品・サービスの普及拡大に取り組み、利用者の利便性向上に努めます。
- 3 地域金融機関として信頼されるJAとして、融資・年金・相続・税金など高度な相談に応えられる職員の人材育成につとめます。
- 4 事務堅確性の向上、不祥事未然防止等コンプライアンス体制の強化を図ります。また、デジタル技術の活用により業務の効率化に取り組み、経営の健全化につとめます。



## 信用事業種類別計画

(単位：千円)

| 種 類     |       | 前年度末残高 (A)  | 本 年 度 計 画   |             | 前年実績対比<br>(B) / (A) × 100 |
|---------|-------|-------------|-------------|-------------|---------------------------|
|         |       |             | 期末残高 (B)    | 平 均 残 高     |                           |
| 貯金      | 当 座 性 | 149,634,353 | 151,130,697 | 151,022,302 | 101.0%                    |
|         | 定 期 性 | 190,789,759 | 192,697,657 | 192,559,449 | 101.0                     |
|         | 譲 渡 性 | 200,000     | 202,000     | 201,855     | 101.0                     |
|         | 計     | 340,624,113 | 344,030,354 | 343,783,607 | 101.0                     |
| 借入金     | 手 形   | —           | —           | —           | —                         |
|         | 証 書   | 53,295      | 80,000      | 95,000      | 150.1                     |
|         | 当座借越  | —           | —           | —           | —                         |
|         | 計     | 53,295      | 80,000      | 95,000      | 150.1                     |
| 預金      | 当 座 性 | 1,080,310   | 4,530,112   | 4,525,020   | 419.3                     |
|         | 定 期 性 | 275,499,300 | 272,969     | 272,663     | 99.0                      |
|         | 計     | 276,579,610 | 277,500,000 | 277,188,020 | 100.3                     |
|         | 系 統 外 | 9,439       | 15,000      | 15,000      | 158.9                     |
|         | 計     | 276,589,049 | 277,515,000 | 277,203,020 | 100.3                     |
| 有 価 証 券 |       | 3,231,741   | 4,200,000   | 4,000,000   | 129.9                     |
| 貸出金     | 手形貸付  | 932,948     | 943,684     | 935,333     | 101.1                     |
|         | 証書貸付  | 54,208,013  | 54,805,903  | 54,320,895  | 101.1                     |
|         | 当座貸越  | 746,114     | 750,412     | 743,771     | 100.5                     |
|         | 計     | 55,887,075  | 56,500,000  | 56,000,000  | 101.0                     |

(注) 金額単位は千円とし、端数は切り捨て。科目金額の合計値はそれぞれの合計欄の金額と一致しない。  
また、当座貸越には総合資金貸越が含まれている。

- 1 組合員・農業者が安心して農業経営に専念できるよう農業者や担い手経営体への農業リスク診断活動展開による保障拡充を目指します。また、農業者の所得増大や地域農業の活性化、協同活動の促進に向け、JA共済支援制度を活用した活動支援に取り組みます。
- 2 全契約者・組合員に“寄り添った”推進活動の実践により、「ひと・いえ・くるま・農業」の万全な保障提供を通じて、安心してくらす豊かな地域社会に貢献する事業展開をすすめます。
- 3 組合員・利用者へより質の高いサービスを提供するため、専門性の高い人材育成の強化に取り組むとともに、デジタル技術等の活用による迅速・適正な事務手続きの促進及び利便性向上と大規模災害時の損害調査体制の強化につとめます。
- 4 交通事故における、安心サポーターによる契約者への適正な初期対応の徹底と不安解消に取り組み、JA共済連自動車損害調査サービスセンターとの連携を強化し、事故対応満足度の向上を目指します。

### 普及推進活動計画（新契約高）

組合員・利用者のあらゆる保障ニーズに応じた推進活動を実現するため、すべての共済種類を統一的に評価する「推進ポイント方式」による管理をします。長期共済保有高と長期安定的な事業基盤を確保するため、長期共済の新規契約を対象とした「長期基盤目標」と「推進総合ポイント」に重点を置いた目標設定により、組合員・利用者の保障ニーズに応じた普及推進活動を展開します。

#### (1) 長期基盤目標

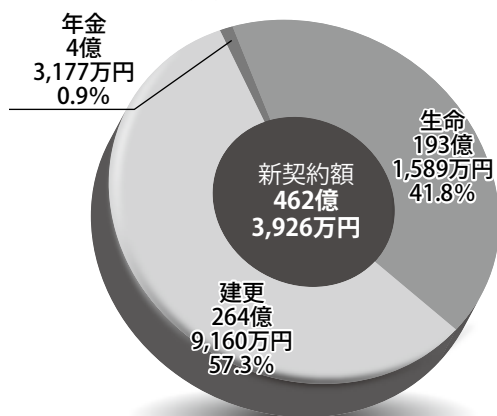
|                 |          |
|-----------------|----------|
| 生命 万 一 基 盤 目 標  | 237万ポイント |
| 生 存 保 障 基 盤 目 標 | 247万ポイント |
| 年 金 基 盤 目 標     | 81万ポイント  |
| 建 物 基 盤 目 標     | 185万ポイント |
| （参考）長期基盤合計      | 750万ポイント |

#### (2) 推進総合目標

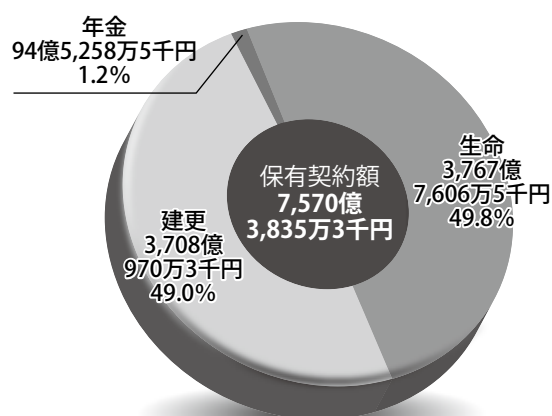
|             |            |
|-------------|------------|
| 推 進 ポ イ ン ト | 1,862万ポイント |
|-------------|------------|

- (注) 1 生命万一基盤目標は終身共済、一時払終身共済、一時払終身共済（平28.10）、引受緩和型終身共済、養老生命共済、こども共済、定期生命共済の新規契約、医療共済の新規契約に付される特約、旧年金共済に付される特約の合計をいう。
- 2 生存保障基盤目標はがん共済、医療共済の主契約部分、引受緩和型医療共済、介護共済、一時払介護共済、生活障害共済、特定重度疾病共済、認知症共済の新規契約の合計をいう。
- 3 推進総合目標は、生命総合共済、建物更生共済、自動車共済、自賠責共済、火災共済、傷害共済の合計をいう。

長期共済新契約高計画



長期共済保有契約高計画



前年実績対比 107.6%    前年計画対比 84.1%    前年実績対比 98.5%    前年計画対比 94.9%

### 短期共済（新契約高）計画

(単位：件、千円)

| 種 類     | 前 年 度 実 績 |            | 本 年 度 計 画 |            |
|---------|-----------|------------|-----------|------------|
|         | 件 数       | 金 額        | 件 数       | 金 額        |
| 火 災     | 6,599     | 80,945,120 | 6,700     | 81,836,840 |
| 傷 害     | 22,521    | 39,929,500 | 33,782    | 59,894,250 |
| 定 額 定 期 | 3         | 12,000     | 3         | 12,000     |
| 自 動 車   | 27,136    | 997,420    | 27,407    | 996,900    |
| 個 人 賠 責 | 1,313     |            | 1,500     |            |
| 自 賠 責   | 6,795     |            | 6,800     |            |

(注) 金額は保障金額である。(自動車は掛金)

## 長期共済保有契約高計画

(単位：件、千円、%)

| 種 類       |         | 前年度末実績   |             | 本 年 度 末 計 画 |            |       |            |       |            |         |             | 前年<br>実績<br>対比 |
|-----------|---------|----------|-------------|-------------|------------|-------|------------|-------|------------|---------|-------------|----------------|
|           |         | 保有<br>件数 | 保有高<br>金 額  | 当 期 増 加 高   |            |       |            | 当期減少高 |            | 期末保有高   |             |                |
|           |         |          |             | 新契約高        |            |       |            |       |            |         |             |                |
|           |         |          |             | 件数          | 金額         | 件数    | 金額         | 件数    | 金額         | 件数      | 金額          |                |
| 終 身 共 済   |         | 34,336   | 295,792,127 | 1,125       | 10,709,050 | 810   | 7,987,770  | 2,656 | 22,913,743 | 32,805  | 283,587,434 | 95.8           |
| 定期生命共済    |         | 435      | 4,730,300   | 725         | 10,018,350 | 724   | 9,997,540  | 73    | 795,866    | 1,087   | 13,952,784  | 294.9          |
| 養老生命共済    |         | 13,875   | 71,751,330  | 300         | 926,400    | 266   | 764,620    | 1,034 | 6,305,999  | 13,141  | 66,371,731  | 92.5           |
|           | (こども共済) | 7,165    | 30,013,853  | 259         | 640,180    | 231   | 520,130    | 334   | 2,145,545  | 7,090   | 28,508,488  | 94.9           |
| 医 療 共 済   |         | 20,919   | 6,536,800   | 2,944       | 131,460    | 2,840 | 97,470     | 1,446 | 606,855    | 22,417  | 6,061,405   | 92.7           |
| が ん 共 済   |         | 6,145    | 1,493,500   | 290         | 35,220     | 225   | —          | 221   | 118,431    | 6,214   | 1,410,289   | 94.4           |
| 定期医療共済    |         | 918      | 1,344,700   | 3           | 1,820      | —     | —          | 49    | 23,329     | 872     | 1,323,191   | 98.4           |
| 介 護 共 済   |         | 3,131    | 2,974,828   | 384         | 479,120    | 372   | 468,490    | 274   | 18,885     | 3,241   | 3,435,133   | 115.4          |
| 生活障害共済    |         | 1,384    | —           | 401         | —          | 383   | —          | 277   | —          | 1,508   | —           | —              |
| 特定重度疾病共済  |         | 1,072    | —           | 319         | —          | 314   | —          | 205   | —          | 1,186   | —           | —              |
| 年金共済（保障額） |         | —        | 748,000     | —           | 25,650     | —     | —          | —     | 139,552    | —       | 634,098     | 84.7           |
| 建物更生共済    |         | 27,545   | 373,598,738 | 2,655       | 35,420,600 | 1,997 | 26,491,600 | 3,009 | 38,209,635 | 27,191  | 370,809,703 | 99.2           |
| 計         |         | 109,760  | 758,970,323 | 9,146       | 57,747,740 | 7,931 | 45,807,490 | 9,244 | 69,132,295 | 109,662 | 747,585,768 | 98.5           |
| 年<br>金    | 年金開始前   | 13,223   | 6,974,075   | 761         | 590,650    | 723   | 431,770    | 1,387 | 744,810    | 12,597  | 6,819,915   | 97.7           |
|           | 年金開始後   | 6,041    | 2,719,540   | 382         | 192,520    | —     | —          | 579   | 279,390    | 5,844   | 2,632,670   | 96.8           |
|           | 年金合計    | 19,264   | 9,693,616   | 1,143       | 783,170    | 723   | 431,770    | 1,966 | 1,024,200  | 18,441  | 9,452,585   | 97.5           |

(注) 金額は保障金額（下段の年金共済は年金年額）であり、上段の年金共済（保障額）件数は下段の年金共済の件数に含む。  
また、こども共済は養老生命共済の内書きである。

(注) 金額単位は千円とし、端数は切り捨て。科目別金額の合計値は、それぞれの合計欄の金額と一致しない。

## 広報活動

- 1 組合員とJAをつなぐ重要な役割である広報誌「JAN! JAN!」・支所だより・営農課だより等を活用して、組合員に必要な情報を発信し組織基盤の強化に取り組みます。
- 2 JA活動・催事等の情報を広く発信し「食」「農」への理解促進と、JAを「知ってもらう」、「利用してもらう」、「参画してもらう」につながる広報活動に取り組みます。
- 3 デジタル媒体の活用について、情報ニーズ別に有効なデジタルコンテンツを活用し、タイムリーかつ継続的に情報を発信することでJAへの関心と有用性をPRし、事業利用へ向けた取り組みをすすめます。
- 4 各種メディアへ社会的価値のある情報を提供することで、JAの存在意義を広くPRします。

## 有線放送

- 1 営農やくらしに寄り添う有線放送を目指し、栽培・病虫害・気象情報・生産資材等の身近な情報をタイムリーに発信します。
- 2 行政・医療関係機関や他の有線放送施設と連携し、日常生活に役立つ情報発信につとめるとともに、今後の有線放送事業のあり方について検討をすすめます。

### 有線放送会計収支計画

#### 収 入

(単位：千円)

| 科 目         | 本年度計画  | 説 明     |
|-------------|--------|---------|
| 使 用 料       | 21,900 | 有線使用料   |
| 放 送 料       | 1,548  | 受入放送料   |
| 設 備 負 担 金   | 700    | 設備負担金   |
| 受 入 工 事 代 金 | 500    | 移転工事代ほか |
| 雑 収 入       | 808    | 賃貸料ほか   |
| 合 計         | 25,456 |         |

#### 支 出

(単位：千円)

| 科 目       | 本年度計画  | 説 明          |
|-----------|--------|--------------|
| 施 設 費     | 10,986 | 施設工事、電気料ほか   |
| 業 務 費     | 138    | 通信運搬費、消耗品費ほか |
| 負 担 金     | 730    | 共設協会負担金ほか    |
| 雑 費       | 15     |              |
| 事 業 管 理 費 | 13,587 | 人件費、減価償却費ほか  |
| 合 計       | 25,456 |              |

## 経営管理・組織運営

- 1 組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立
  - (1) 組合員との対話活動の強化により、幅広い意見集約に向けた会議体等の機能を見直し活性化を図ります。
  - (2) 農家組合（農事組合、実行組合）との連携により、地域諸課題の解決に取り組めます。
  - (3) 女性の意見を反映したJ A運営に取り組むため、女性組合員加入促進、女性総代、女性理事の登用など、女性参画比率の向上に取り組めます。
- 2 「食と農業の応援団」の拡大
  - (1) 各種部会・組織活動参加者や子供を対象とした子育て世代へのアプローチを展開し、活動参加者へ向けたニーズに合う事業利用の促進を図ります。
  - (2) 協同活動の活性化に向けた組合員の「拠り所」の構築に取り組めます。
  - (3) 「食」を基軸とした地域農業の応援につながる活動を展開するとともに、次世代への食農教育に取り組めます。
- 3 新たな事業戦略（成長化戦略・効率化戦略）を策定・実践するための「人づくりの仕組み」の構築
  - (1) 求められる職員の能力を明確化し、その能力を開発するための「能力開発型人事制度」の導入に取り組めます。
  - (2) 組合員・利用者ニーズに基づいた質の高いサービス提供に向けた専門知識の習得及び資格取得を強化し、10年後の事業展開を見据えた資格取得に取り組めます。



#### 4 有効に機能する内部統制の確立とコンプライアンスの徹底・定着

- (1) 内部統制の着実な運用により、業務の有効性・効率性を確保するとともに、継続的にコンプライアンス重視の組織風土の醸成に取り組みます。
- (2) 平時から事業継続計画（BCP）の実効性を維持し、大規模災害や新型ウイルス発生時等の経営リスクを低減するための事業継続体制の構築に取り組みます。
- (3) 経営改革の進捗および新たな内部統制等に対して、客観的な保証・報告、適切な助言を行うことのできる内部監査に取り組みます。

## 経営改革

農業・JAを取り巻く環境は、少子高齢化や規制緩和等による様々な事業での競争環境の激化に加え、長期化するマイナス金利政策により事業収支の悪化が懸念されます。環境変化に対応し、将来にわたってJAの役割である農業振興や地域社会の活性化に向けて、「地域に必要とされるJA」を目指して、経営体質の強化・財務の健全化を目的とする改革に取り組みます。

- 1 多様化する生産現場に対する営農指導体制の構築に向けた改革をすすめます。
- 2 拠点等の事業効率化に向け、信用共済事業では、複雑化する組合員ニーズに的確に対応できる総合的な相談機能の充実に向けた店舗づくり・拠点機能の見直しをすすめます。また、営農関連事業では、農業生産基盤の維持・荒廃地化の防止および地域ブランドなどの産地化に向けて、効率的に機能する事業体制の見直しをすすめます。
- 3 上記1・2をすすめる中で、「なくてはならない・地域に必要とされるJA」を目指し、現行の事業体制の役割を再検証し、全事業での改革をすすめ効率的な組織運営を目指します。

## 主な固定資産取得・処分計画

### 固定資産取得計画

第28回通常総代会に付議すべき固定資産取得計画はありません。

### 固定資産処分計画

第28回通常総代会に付議すべき固定資産処分計画はありません。

## 自己資本造成計画

(単位：千円)

| 種 類                    | 前年度末実績<br>(A)            | 本年度末計画<br>(B)            | 増 減 額<br>(B) - (A) |
|------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------|
| 出 資 金                  | 4,019,556                | 4,019,556                | —                  |
| 利 益 準 備 金              | 5,016,323                | 5,046,423                | 30,100             |
| 任 意 積 立 金<br>(うち特別積立金) | 4,300,121<br>(2,366,558) | 4,420,321<br>(2,366,558) | 120,200<br>(—)     |
| 繰 越 剰 余 金              | 109,066                  | 109,066                  | —                  |
| 処 分 未 済 持 分            | △ 52,777                 | △ 52,777                 | —                  |
| 合 計                    | 13,392,290               | 13,542,590               | 150,300            |

### 【株式会社ジェイエイサービス】

J A 信州うえだの事業を補完する子会社として、J A との連携・協力による事業展開を行い、組合員・利用者に満足いただけるサービスを提供します。

#### 【葬祭事業】

- 1 「虹の会」会員特典の提供をベースに、継続したコロナウイルス感染予防対策とアフターコロナを見据えた対応につとめます。
- 2 お客様のニーズに応えた「(仮称) お墓そうじ代行」事業の取り扱いをすすめます。
- 3 葬儀後のアフターフォローとして、法事や各種商品（墓石・仏壇など）の提案につとめます。

#### 【SS（サービスステーション）事業】

- 1 燃料事業改革の検証を行い、継続して燃料情勢を踏まえた事業運営体制の検討をすすめます。
- 2 新たな事業への取り組みなどを通して、利用者の拡大につとめます。
- 3 法令点検や自主点検の実施により安全性を確保し、各種研修会を通じた利用者対応の向上につとめます。

### 【有限会社信州うえだファーム】

J A 信州うえだの基本目標である「管内農業の振興」「農家所得の増大」「安心してくらせる豊かな地域づくり」の実現に向けJ A 事業を補完する取り組みを行います。また、財務の健全化を図り、持続可能で安定した事業運営を行います。

- 1 管内農産物の生産量維持・拡大、有利販売を目的とした戦略的農業経営の展開を目指します。
- 2 急激にすすむ農業労働力の減少と高齢化に対処するため、新規就農育成事業の強化を図ります。
- 3 「農業所得の増大」「農業生産の拡大」に向けた営農類型の検討・提案、新品目・新技術等普及に向けた栽培実証並びに展示、「スマート農業」や「緑の食料システム戦略」の研究・実践をすすめます。
- 4 実施事業の見直し及び経営改善に向けた取り組みを強化します。

### 【株式会社オートパル信州うえだ】

J A 信州うえだとの事業連携による自動車事業の情報発信につとめ、多様化する事業環境に対応し、組合員・利用者への負託に応える事業運営に取り組みます。

- 1 定期的なキャンペーン・イベントの開催を通じて、新型車・特選車の情報発信につとめます。
- 2 県域との中古車情報の共有化とオークションによる中古車両の確保を行い、多様化する顧客ニーズに応えます。
- 3 各種研修会への積極的参加を通じて、専門社員の育成と整備機器の充実を図り、安全・安心なサービスを提供します。

# MEMO

[illegible]

# 第29期事業年度(令和4年度)総合損益計画(案)

(単位：千円)

| 科 目         | 金 額       |           |                    |
|-------------|-----------|-----------|--------------------|
|             | 本年計画      | 前年実績      | 説 明                |
| 1 事業総利益     | 4,808,100 | 5,117,676 | 各事業総利益の合計額         |
| (1) 信用事業収益  | 2,685,000 | 2,781,252 |                    |
| 資金運用収益      | 2,485,500 | 2,530,103 | 預金利息、有価証券利息、貸出金利息等 |
| 役務取引等収益     | 98,500    | 100,100   | 為替取引等に関する手数料等      |
| その他事業直接収益   | －         | 1,153     | 国債の売却益             |
| その他経常収益     | 101,000   | 149,896   |                    |
| (2) 信用事業費用  | 372,500   | 365,129   |                    |
| 資金調達費用      | 79,260    | 62,579    | 貯金利息、借入金等の利息       |
| 役務取引等費用     | 27,100    | 27,337    | 為替業務に関わる支払手数料等     |
| その他事業直接費用   | －         | 424       | 国債の売却損             |
| その他経常費用     | 266,140   | 274,788   |                    |
| 信用事業総利益     | 2,312,500 | 2,416,122 |                    |
| (3) 共済事業収益  | 1,352,500 | 1,472,010 | 共済事業の受取手数料、雑収入等    |
| (4) 共済事業費用  | 132,500   | 103,984   | 共済事業の推進費等の費用       |
| 共済事業総利益     | 1,220,000 | 1,368,025 |                    |
| (5) 購買事業収益  | 5,623,900 | 4,602,100 | 購買品供給高、雑収入等        |
| (6) 購買事業費用  | 4,861,600 | 3,801,282 | 購買品の仕入や業務に要する費用    |
| 購買事業総利益     | 762,300   | 800,817   |                    |
| (7) 販売事業収益  | 398,570   | 420,427   | 農畜産物の販売品手数料等       |
| (8) 販売事業費用  | 139,170   | 161,415   | 農畜産物の販売に要する費用      |
| 販売事業総利益     | 259,400   | 259,011   |                    |
| (9) 保管事業収益  | 19,900    | 21,039    | 米の保管料等             |
| (10) 保管事業費用 | 8,500     | 7,220     | 米の保管管理等費用          |
| 保管事業総利益     | 11,400    | 13,819    |                    |
| (11) 加工事業収益 | 145,290   | 133,077   | 精米利用料、加工料等         |
| (12) 加工事業費用 | 115,990   | 109,793   | 精米加工事業に要する費用       |
| 加工事業総利益     | 29,300    | 23,283    |                    |
| (13) 利用事業収益 | 666,290   | 637,763   | 農業関連施設等の利用料        |
| (14) 利用事業費用 | 477,890   | 472,744   | 農業関連施設等の運営費用       |
| 利用事業総利益     | 188,400   | 165,018   |                    |
| (15) 福祉事業収益 | 148,500   | 183,195   | 福祉サービス利用料等の収益      |
| (16) 福祉事業費用 | 55,000    | 57,406    | 福祉事業の運営費用          |
| 福祉事業総利益     | 93,500    | 125,789   |                    |



(単位：千円)

| 科 目                | 金 額       |           |                    |
|--------------------|-----------|-----------|--------------------|
|                    | 本年計画      | 前年実績      | 説 明                |
| (17) そ の 他 事 業 収 益 | —         | 31,153    | 農地中間管理事業に係る収益      |
| (18) そ の 他 事 業 費 用 | —         | 31,153    | 農地中間管理事業に係る費用      |
| その他事業総利益           | —         | —         |                    |
| (19) 指 導 事 業 収 入   | 58,000    | 68,972    | うち営農指導収入55,000千円   |
| (20) 指 導 事 業 支 出   | 126,700   | 123,184   | うち営農指導支出103,700千円  |
| 指導事業収支差額           | △ 68,700  | △ 54,211  |                    |
| 2 事業管理費            | 4,703,000 | 4,697,843 |                    |
| (1) 人 件 費          | 3,344,100 | 3,421,915 | 役員報酬、給料手当、厚生費等     |
| (2) 業 務 費          | 563,900   | 510,514   | 会議費、通信費、印刷費、電算処理料等 |
| (3) 諸 税 負 担 金      | 144,000   | 133,162   | 税金、支払賦課金、負担金等      |
| (4) 施 設 費          | 636,000   | 621,583   | 保守・修繕費、保険料、水道光熱費等  |
| (5) そ の 他 費 用      | 15,000    | 10,667    |                    |
| 事業利益               | 105,100   | 419,833   |                    |
| 3 事業外収益            | 406,500   | 508,673   | 賃貸料等               |
| 4 事業外費用            | 276,300   | 311,363   | 寄付金等               |
| 経 常 利 益            | 235,300   | 617,143   |                    |
| 5 特別利益             | —         | 1,082     | 固定資産処分益、一般補助金等     |
| 6 特別損失             | 50,000    | 179,384   | 固定資産処分損、圧縮損等       |
| 税引前当期利益            | 185,300   | 438,841   |                    |
| 7 法人税、住民税及び事業税     | 35,000    | 5,237     | 法人税、事業税、県民税、市町村民税等 |
| 8 法人税等調整額          | —         | △ 10,606  |                    |
| 当期剰余金              | 150,300   | 444,210   |                    |
| 当期首繰越剰余金           | 109,066   | 107,393   | 前期から繰越された剰余金       |
| 当期末処分剰余金           | 259,366   | 551,604   | 当期の処分可能剰余金         |

※収益認識基準の導入に当たり、事業計画が変更になる場合があります。

# 第29期事業年度(令和4年度)総合財務計画(案)

(単位：千円)

| 科<br>目            | 資 産         |             |                        |
|-------------------|-------------|-------------|------------------------|
|                   | 金 額         |             | 説 明                    |
|                   | 本年計画        | 前年実績        |                        |
| 1 信用事業資産          | 337,655,079 | 334,977,774 |                        |
| (1) 現 金           | 1,726,636   | 1,551,439   | 手持ち現金                  |
| (2) 預 金           | 277,515,000 | 276,589,049 | 信連等への預入金               |
| (3) 有 価 証 券       | 4,200,000   | 3,231,741   | 国債、社債                  |
| (4) 貸 出 金         | 56,500,000  | 55,887,075  | 組員・利用者の皆様に利用していただいている額 |
| (5) その他の信用事業資産    | 490,000     | 495,025     | 信用事業の未収利息等             |
| (6) 貸 倒 引 当 金     | △ 2,776,556 | △ 2,776,556 | 信用事業貸倒引当金の額            |
| 2 共済事業資産          | 70,000      | 70,755      |                        |
| (1) 共 済 事 業 資 産   | 70,000      | 70,755      | 共済未収利息等                |
| 3 経済事業資産          | 1,858,296   | 1,782,735   |                        |
| (1) 受 取 手 形       | 20,000      | 16,515      | 小切手、手形等の額              |
| (2) 経 済 事 業 未 収 金 | 1,300,000   | 1,280,873   | 購買未収金、販売未収金等           |
| (3) 経 済 受 託 債 権   | 15,000      | 7,877       | 販売仮渡金等                 |
| (4) 棚 卸 資 産       | 680,000     | 670,464     | 購買品等の在庫                |
| (5) その他の経済事業資産    | 150,000     | 113,708     |                        |
| (6) 貸 倒 引 当 金     | △ 306,703   | △ 306,703   | 経済事業貸倒引当金の額            |
| 4 雑資産             | 2,414,829   | 2,159,283   |                        |
| (1) 雑 資 産         | 2,500,000   | 2,244,453   | 各事業に属さない未収金、仮払金等       |
| (2) 貸 倒 引 当 金     | △ 85,170    | △ 85,170    | 事業外貸倒引当金               |
| 5 固定資産            | 9,187,082   | 9,204,381   | 所有している土地、建物、機械、車両等     |
| 6 外部出資            | 12,949,343  | 12,830,353  | 系統機関等への出資金             |
| 7 繰延税金資産          | 122,712     | 122,712     | 税効果会計により計上した資産         |
| 資 産 合 計           | 364,257,342 | 361,147,995 |                        |

(単位：千円)

| 負債及び純資産           |                    |                    |                      |
|-------------------|--------------------|--------------------|----------------------|
| 科目                | 金額                 |                    |                      |
|                   | 本年計画               | 前年実績               | 説明                   |
| 1 信用事業負債          | 346,110,354        | 342,735,284        |                      |
| (1) 貯 金           | 343,828,354        | 340,424,113        | 組合員・利用者の皆様からお預りしている額 |
| (2) 譲 渡 性 貯 金     | 202,000            | 200,000            |                      |
| (3) 借 入 金         | 80,000             | 53,295             | 農林漁業資金等の転貸資金等の借入金    |
| (4) その他の信用事業負債    | 2,000,000          | 2,057,875          | 貯金の未払利息等             |
| 2 共済事業負債          | 825,000            | 899,245            |                      |
| (1) 共 済 資 金       | 400,000            | 447,968            | 共済掛金などの一時預り金         |
| (2) 未経過共済付加収入     | 400,000            | 427,847            | 未経過分の共済付加収入          |
| (3) その他の共済事業負債    | 25,000             | 23,429             | 保険代理店等の預り金           |
| 3 経済事業負債          | 596,000            | 670,672            |                      |
| (1) 経 済 事 業 未 払 金 | 550,000            | 580,607            | 購買未払金等経済事業にかかわる未払金   |
| (2) 経 済 受 託 債 務   | 20,000             | 54,449             | 販売仮受金等               |
| (3) その他の経済事業負債    | 26,000             | 35,615             | 経済事業の預り金等            |
| 4 設備借入金           | 42,857             | 57,142             | 施設取得に係る借入金           |
| 5 雑負債             | 600,000            | 839,432            | 各事業に属さない未払金、仮受金等     |
| 6 諸引当金            | 2,602,825          | 2,616,210          |                      |
| (1) 賞 与 引 当 金     | 113,768            | 113,768            | 賞与支給基準による計上額         |
| (2) 退 職 給 付 引 当 金 | 2,439,632          | 2,435,525          | 退職給付会計基準による計上額       |
| (3) 役員退職慰労引当金     | 40,423             | 58,878             | 役員退職慰労金積立規程による積立額    |
| (4) ポ イ ン ト 引 当 金 | 9,000              | 8,038              | J A ポイントサービス規程による計上額 |
| <b>負債合計</b>       | <b>350,777,036</b> | <b>347,817,989</b> |                      |
| 1 組合員資本           | 13,542,590         | 13,392,290         |                      |
| (1) 出 資 金         | 4,019,556          | 4,019,556          | 組合員の皆様から出資いただいた額     |
| (2) 利 益 剰 余 金     | 9,575,811          | 9,425,511          |                      |
| 利益準備金             | 5,016,323          | 4,927,323          | 農協法に基づき剰余金から積立てる準備金等 |
| その他利益剰余金          | 4,559,488          | 4,498,188          | 目的積立金・特別積立金等         |
| (3) 処 分 未 済 持 分   | △ 52,777           | △ 52,777           | 組合が組合員から譲り受けた持分      |
| 2 評価・換算差額等        | △ 62,283           | △ 62,283           |                      |
| (1) その他有価証券評価差額金  | △ 62,283           | △ 62,283           | 有価証券の評価損益            |
| <b>純資産合計</b>      | <b>13,480,306</b>  | <b>13,330,006</b>  |                      |
| <b>負債及び純資産合計</b>  | <b>364,257,342</b> | <b>361,147,995</b> |                      |

# 令和4年度監事監査方針

令和4年度監事監査は、J Aを取巻く事業・経営環境を踏まえ、組合員の負託を受けた独立の機関として公正不偏の立場を堅持し、組合の健全性の確保と良質なガバナンス体制の確立に向けた監査を実施します。

## 1. 監査環境

### (1) 自己改革の実践と早期警戒制度への対応

総合農協監督指針に対応した自己改革の進捗管理と、経営の持続性を確保するため、早期警戒制度を踏まえた問題発見と改善に向けた取り組みが進められると認識しています。

### (2) 内部統制システムの整備・運用の強化

J Aの社会的役割を誠実に果たすため、コンプライアンスの確立及び不祥事未然防止に向けたガバナンスと内部統制の更なる向上が重要であると認識しています。

### (3) 会計監査人監査の厳格な実施

会計の新基準の適用開始や既基準の運用の厳格化により、厳正な評価に耐えうる会計処理が求められていると認識しています。

## 2. 基本方針

監査環境を踏まえ、監事監査の基本方針を次のとおり設定し、監査を実施します。

- (1) 第10次中期3カ年計画と自己改革工程表との連動状況及び着実な実践に向けた取り組みが適切に進められているか確認します。
- (2) 内部統制システムの整備・運用に向けた理事の業務執行並びに態勢の整備状況を確認します。
- (3) 不祥事未然防止に向けた態勢が有効に機能しているか確認します。
- (4) 会計監査人が行った監査の方法及び結果の相当性を判断するとともに、業務報告等監査を適切に実施します。
- (5) 効率的で実効性ある監査を進めるため、会計監査人及び内部監査部門との連携を深めます。

以上の方針に基づき下記により全部署及び子会社を対象に監査計画を策定・実施します。

| 監 査 の 種 類       | 実 施 内 容                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決 算 ・ 仮 決 算 監 査 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中期3カ年計画・事業計画の進捗状況及び業務の有効性の確認</li><li>・ 自己改革工程表への取り組み状況の確認</li><li>・ 内部統制整備・運用状況の確認・評価</li><li>・ 棚卸立会監査</li><li>・ 計算書類等・事業報告及びその附属明細書の確認</li></ul> |
| 期 中 監 査         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 内部統制整備・運用状況の確認</li><li>・ リスク分析とリスクへの対応の確認</li><li>・ リスク分析に基づいた部門・拠点監査</li><li>・ 監査処理顛末に基づく確認監査</li></ul>                                          |
| 日 常 監 査         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 重要会議への出席</li><li>・ 重要書類の閲覧</li></ul>                                                                                                              |